

■藤原泰衡 武将，豪族。奥州藤原氏4代。源頼朝の脅しに，父遺言に反して，義経を殺害するも，結局滅ぼされた。

ふじわらのやすひら

頼長内覧停止1155= 奥州藤原氏3代秀衡の次男に生まれる。

保元の乱・・・1156= 1歳：

平治の乱・・・1159= 4歳：

・・・1164= 9歳：

・・・1173=18歳：

源氏一斉蜂起1180=25歳：源氏の一斉蜂起以降，父秀衡の立場が一気に厳しくなる。

・・・1182=27歳：

平氏滅亡・・・1185=30歳：

藤原秀衡没・1187=32歳：\*義経を匿い頼朝の追及を受けていた父秀衡が，義経を大将に泰衡・国衡ら結束するよう遺言して死去。

・・・1188=33歳：\_頼朝により前民部少輔基成・泰衡らに義経追討の宣旨・院宣が下り，京進の貢馬・貢金など届けるも，命に従わずばあわせて追討されると諭される。

奥州藤原滅亡1189=34歳：\*ついに義経を衣河館に襲い，これを殺し，使者新田高平が義経の首級を腰越浦に持参するも，頼朝，泰衡征討の準備をはじめたため，弟泉三郎忠衡を攻めて殺し，朝廷も奥州征伐を拒むが，頼朝出陣して，阿津賀志山の平泉陣をぬき，国衡を敗死させる。泰衡，敗報をきき鞭館より北走，頼朝が平泉に入って，基成父子降伏。泰衡は従者をして頼朝の旅館に愁状を呈し，一命を助けられんことを請うが，衡夷秋嶋に渡ろうとした際に，肥内郡暫柵で郎従河田次郎のため殺された。